

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス るあな		公表日		R7 年 3月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		学習支援など、仕切り落ち着いて取り組める環境づくりをしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		適切に配置できるよう職員数は十分である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	トイレや手洗い場など、絵カードを貼り視覚でわかりやすく工夫している	小階段があるためバリアフリー化はなされていないが、児童には問題なく利用できている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		こまめに消毒をするなど、清潔に保っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		着替えやケルガを行うスペースがある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		職員同士が話しやす環境になっており相談、アドバイス、改善点などを話合っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者の方と面談、相談等を聞き、改善している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		会議を行い1人1人の意見を元に話し合い改善している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		評価から改善すべきところがあれば都度会議を行い改善している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		オンライン講習や研修会に参加し報告会を行っている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		支援プログラムをHUGで保護者の方にお伝えをしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		保護者と面談、相談等を行い、計画作成時にはその時の児童のアセスメントを取っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		支援計画の作成には必ず職員同士の共有、会議の下、検討し作成している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		HUG、ミーティングで全職員に共有し、支援計画に沿ってプログラムの組み立てが行われている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		HUG、ミーティングで日々の子どもの様子を共有している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		ねらい、支援計画を踏まえて、アセスメントから支援に適切な項目の設定と支援内容の設定を行っている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		共有を行いながら、職員同士意見を出し合い、プログラムの立案を行っている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		共有、打合せをしながら職員同士で意見を出し合い組み立てている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		お出かけやイベント集団での活動を取り入れ行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		当日の支援内容などの共有を行い、連携できている。変更があった場合などもLINEWORKSで即時に共有出来ている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		終了後、その日の振り返りや子どもの様子など職員で共有し話し合いを行っている。内容を記録し職員全員が見返せるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		記録、評価をとり職員全員が共有、把握できている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		必要に応じて定期的に支援会議を開き、支援の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		学習支援、通所自立支援等、集団活動やお出かけでの行動など支援を行うことができている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		学習支援や余暇の時間を通し行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		電話やミーティングで共有できている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		児童が事業所内で怪我等をした場合の協力医療機関等の整備が整っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		学校行事や下校時間変更など、保護者を通し行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		必要時は連絡を取り、共有・理解に努めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		電話等を用いて情報共有に努めている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	電話やミーティングで連携を図ることができしており、相互的に助言を行っている	研修を多く職員が受けられるようになればなおよい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		コロナの影響もありイベントを開催が少なくなっていたが、地域の方も参加できる祭りのイベントを開催予定
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	児童虐待について研修会などに参加している	多く職員が参加して行けたらよいと思う
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		保護者への記録や送迎時直接伝え合っている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		全ての職員がペアトレーニングを受講している		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		保護者の方への記録を通して、支援プログラム、内容を伝えている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		保護者と面談、相談等を行い、計画作成時にはその時の児童の意向ややりたいことを尊重し確認を取っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		計画は紙、またはHUGより確認できるようにし、同意を得ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		相談があった際は、相談に応じ必要な場合は支援計画の見直しを行う	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	2	夏祭り開催し保護者同士の交流がある。兄弟で通所している子どもたちは、プレイタイムや余暇の時間で交流を持っている	夏祭りで保護者のかかわりは見られたが、保護者会等はない。保護者同士で関われるイベントを増やしていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		速やかに会議を開き、情報の共有と対応を行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		Instagram、ホームページ、HUGなどを通し活動の様子や行事予定を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報に関する書類、パソコンなどの管理を徹底している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		情報の共有を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		夏祭りを開催するなどイベントを行っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		職員や家族だけでなく、児童も一緒に想定される訓練に取り組み、避難場所の把握等を徹底している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		災害時などを想定し指導員同士でのシミュレーションや子どもたちも参加し避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		確認、共有をしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		当日利用のある児童を職員で確認共有をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		怪我を防止できるよう目が届くように指導員が配置、またもしもに備え避難訓練や救急セット、緊急連絡先等の準備を怠らない	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		HUG等を利用し取り組みは周知出来るようにしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1	些細な事も共有し、今後の対策について話し合っている	日報、目視できるものに残し、以降に役立てる
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止、身体拘束の研修を受けている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		書面やHUGで共有、事前に説明を行っている		